

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		07 02 02	中期総合計画主要施策番号		2-01	担当課	部・課	商工労働部経営支援課	
事業名		地域中小企業育成プロジェクト事業					内線	2957	
							E-mail	keieishien@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・磨けば光る意欲ある中小企業を掘り起こし、新事業(商品開発、販路拡大等)の推進を集中的に支援し地域経済の活性化を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・優れた商品や技術を持ちながらも、新事業の推進に向けた様々な課題を解決することが企業単独では難しい。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・中小企業には、新事業の推進に対する様々な課題を担当すべき人材に限られている。 ・複数の専門家等の人材確保には多額の経費が発生する。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・複数の専門家等が連携しながら様々な課題を解決し、新事業の推進を集中的に支援するシステムが必要である。							
	事業内容	・長野県中小企業振興センターに、経験分野の異なるコーディネーター2名を配置。 ・様々な機関から情報を収集し、磨けば光る企業を発掘。 ・専門家等によるプロジェクトチームを編成し、新事業の推進に向けた様々な課題に対する支援を実施。							
実施期間	H19 ~		根拠法令等	中小企業振興センター運営費補助金交付要綱 長野県産業振興戦略プラン					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	磨けば光る元気な企業をプロジェクトチームで集中支援し、地域経済の牽引企業に育成する。		・プロジェクトで支援する新規企業数:10社を目標とする。 (選定企業は、約3年間継続で支援。年間の支援企業総数は30数社。)			・プロジェクトで支援する新規企業数は、9社であった。 (プロジェクト支援決定企業26社に支援を実施している。H19選定17社+H20選定9社=26社) 一部の企業では技術、開発行為がほぼ終了し、販売への取組みが進みつつある。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	8,377	8,286	8,892	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	8,377	7,798	-	実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	8,377	7,798	8,892	歳出節別内訳等	・補助金: 7,798 (単位: 千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.05	0.05	0.05			
	概算人件費 (C)		千円	357	357	357			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	8,734	8,643	9,249				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	プロジェクト支援新規選定企業数		社	17	9	10	・平成20年度相談実績1,137件		
	プロジェクト支援候補企業数		社	43	14	14			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・平成19年度からの新規事業で平成21年度で3年目となる。支援期間は概ね3年間を想定していることから、事業の運営をさらに見守る必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・対象企業ごとに策定された事業計画を推進し、所期の目的を達成するための総合的支援を関係機関等が連携しながら進めていくことが必要である。						